

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立義務教育学校玉湯学園 前期課程）

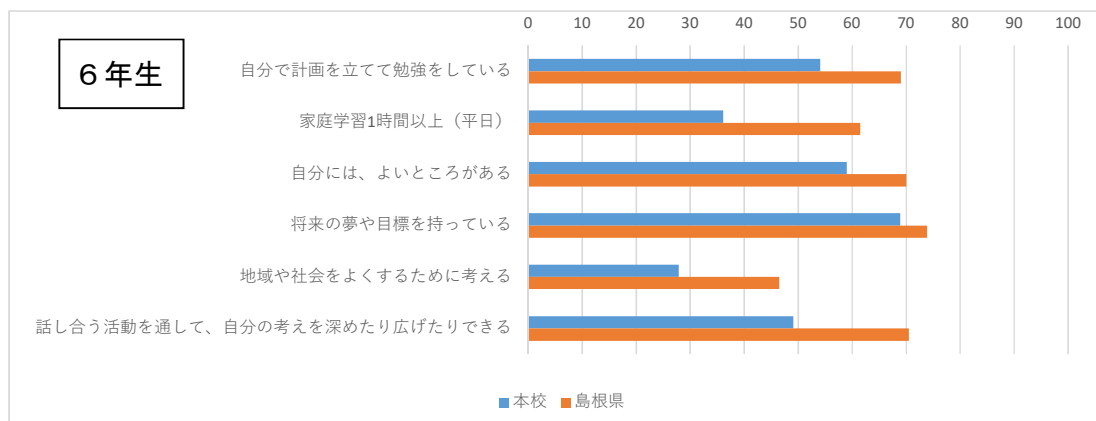
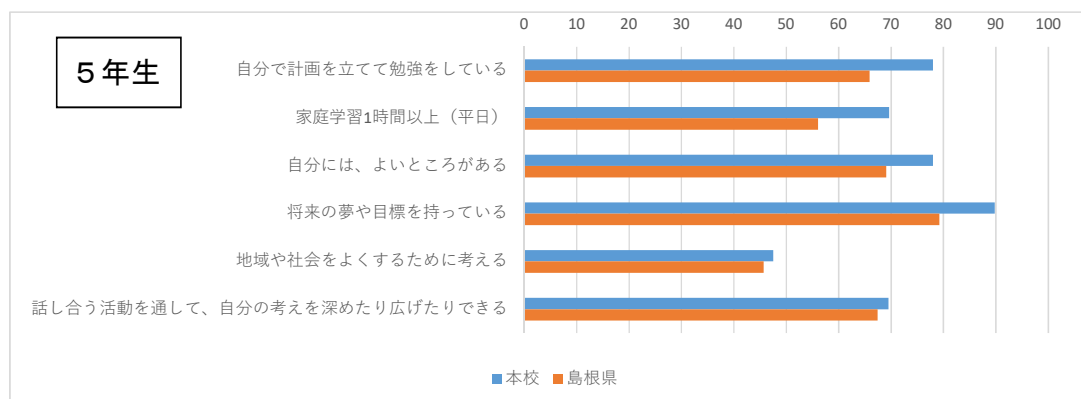
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5 年 国 語	○漢字や読み取る力は県平均より高い。漢字大会への取組を通して、継続的に練習をしていることが結果につながっていると思われる。 ●指定された条件に合わせて文章を書く問題において、正答率が低い。また、言葉の学習も正答率が低い。普段の授業や作文指導、授業後の振り返り等で各活動を多く取り入れていく必要がある。	6 年 国 語	○全体的にバランスよく正答率が高いが、基礎の問題が中でもさらに高い傾向にある。授業の終わりに言葉や漢字に関するミニテストなどを繰り返し行っていることが結果につながっていると思われる。 ●指定された条件に合わせて文章を書く問題において、無回答率が他の問題に比べて高い。書くことに抵抗のある児童が多いと思われる。普段の授業で短文や長文を書くことをさらに習慣づける必要がある。
5 年 算 数	○分数と小数の大小比較の理解や小数を分数に直すこと、分数や小数の計算については、全体的に正答率が高かった。ドリル学習や毎月行っている計算大会などの積み重ねが結果につながった。 ●記述式の解答では、無記述の児童の割合が多い実態がある。普段の授業でグループ学習を取り入れているが、話し合いだけでなく、個人思考の時間や考えを深める時間を確保し、自分の考えをノートにアウトプットできるような取り組みが必要である。	6 年 算 数	○図形の作図や面積・体積を求める問題の正答率が全体的に高かった。計算大会など定期的に基礎学力を高める手立てが結果につながっていると思われる。 ●求め方の説明を書く問題で、無回答率が高い。授業の中で考えをノートに書く活動などをより取り入れていったり、具体的な書き方の指導をしたりする必要がある。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5 年	○全体的に県平均より高い。スポーツ少年団等の習い事に関して将来の夢や目標を持っている子どもが多い。その目標の実現に向けて、今できることをしようという意欲を持っている子どもも多いと思われる。 ●地域や社会の出来事に対する興味関心が低い。総合的な学習等を通して、自分を取り巻く広い意味での社会に目を向けさせる必要があると思われる。	6 年	○本を読んでいる子の割合が県平均に比べ高い。図書館の充実や朝読書の活動が影響していると思われる。 ●スポーツ少年団や習い事を複数している子が多く、また、メディアの接触時間が多く、自学など宿題以外の学習に取り組んでいる子が少ない。メディアコントロールなどの家庭を巻き込んだ啓発が必要と思われる。
--------	--	--------	---

(3) 意識調査（教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています）



【受検者数】 5年生 60名 6年生 61名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。